

なずなケアプランセンター



認知症カフェ『にこにこ』を月1回開催している。ケアマネ&デイサービス職員による、地域の高齢者や認知症の家族を温かく迎える“居場所”です。好きな飲み物を楽しみながら会話を交わし、体操や手芸、音楽などを通して自然に体も心も動かせるような工夫をしている。地域包括支援センターの職員も参加し、その場で気軽に介護について相談ができる体制もある。こうした仕組みのおかげで「ちょっと困った」に気づきやすくなり必要な支援につながっている。今では「カフェを開きたい」と見学に来る人もいるほどだ。

共生の里ヘルパーステーション



週2回の入浴を楽しみにしている利用者がいる。浴槽につかることは、気持ちをリラックスさせます。そして、ヘルパーと利用者との間に親密なコミュニケーションが生まれます。その日は戦争体験の話をしてくれました。屋根スレスレを飛行機が飛び、警報が鳴り響く度に必死に走って防空壕に避難し怖い思いをした事、配給に並び少ない食べ物で、いつもお腹が空いていた事などを教えてくれました。人生の大先輩から体験談を聞けるのは価値あることです。平和がどれだけ幸せか、忘れてはいけないと思った貴重な時間でした。

誕生日に寄せて

出身は滋賀県の彦根。山がある田舎で育ちました。兄弟は5人兄弟。3番目でどちらかというやんちゃに遊びまわる女の子。ご主人と一緒にってから大阪に来て子育ては大阪でしてきたと。昔の話で曖昧な所もあったけど話していたら色々思い出してきたわと笑います。子育ては大きな声を出してよう怒っていたわ、けれど家族旅行にはよく行って楽しかったと。今もその子供たちと一緒に仲良く暮らしています。

